令和５年度 学校だより
３月 すくすく くすのき
令和６月３月１８日
阿武町立阿武小学校
第　１２　号

卒業式までの道のり…

３月１９日は、令和５年度　第１３回卒業証書授与式です。今年度の卒業生は１８名。発行日の関係で、本紙面でその様子をお伝えできないのが残念ですが、振り返ってみれば、２月末からのいろいろな活動や行事が、卒業式までの道のりとしてつながっていました・・・。

まず、３月１日に「６年生を送る会」がありました。この会に向けては終始、５年生が全校をリードしてきたのですが、他の学年も、５年生の指示のもと、６年生のためにプレゼントをつくったり、メッセージの練習などをしたりしながら自分事としてかかわってきました。

そのおかげでしょうか、直前に行ったリハーサルでは、６年生に喜んでもらいたいというみんなの楽しみがあふれていました。自分の限られた時間を、少しでもだれかのために使おうとすることは、決して無駄なことではなく、意味のあることだと、あらためて感じました。

そして、迎えた当日・・・

感謝の気持ちをこめて、卒業をみんなで祝い、お互いの心の結びつきが深まるような集会にしてほしい・・・そして、５年生が中心になって計画・運営にあたり、次の阿武小学校を担う自覚をもってほしい・・・そんな願いを体現することができました。

『きづく、きめる、かかわる、やりぬく』の心や力が大いに発揮され、結果はもちろんですが、それまでの過程もすばらしく、本当に「楽しさあふれる阿武小学校」の時間になりました。

6年生はというと、在校生のために委員会活動の引継ぎをしたり、「ありがとうプロジェクト」の一環として学校や地域をきれいにする奉仕活動を行ったりしました。

また、道の駅阿武町の「蒸気船まんじゅうカフェ８４６」で、阿武町銘菓の蒸気船まんじゅうづくりを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の前までは、毎年６年生の卒業のお祝いで行っていた学習だったそうですが、お店の方のご好意により、今年度復活して行うことができました。銘菓やそこにかかわる人たちの思いを知ることで、あらためて地域を知り、心に留め、好きになる、そんな価値ある体験をさせていただきました。

そして、３月１５日は卒業式の予行でした。練習というよりも本番さながらに、気持ちはもとより身だしなみも整え、緊張感のある中、行うことができました。

このように、卒業式の練習だけではなく、日々行われる様々な授業や活動を通して感じたことが、卒業式につながっていきます。小学校生活の集大成である卒業式は、いよいよ明日です。

くすのきボランティア感謝の会

今年度、本校の教育活動を様々な面で支えてくださった地域の方々をお招きして感謝の会を行いました。たくさんの温かい言葉や励ましの言葉をいただき、あらためて地域とともにある学校のすばらしさを感じました。お礼のあいさつの中で、６年生の代表児童は「みなさんは、あこがれです。」と伝えてくれました。そんな思いが、一人ひとりの心の中に広がっていってほしいと思いました。

令和５年度は、もうすぐ終わりますが、保護者そして地域の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。令和６年度も引き続き、阿武小学校の子どもたちの学びと育ちを、ともに支えていただきますようお願い申し上げます。